



進路通信

能代科学技術高校
進路指導部
2022年11月4日発行
第3号

1 求人状況について

	県内		県外	
	事業所数	件数	事業所数	件数
7月16日	171	259	613	1202
10月20日	231	340	1015	1912

- 求人に関しては7月のピークが過ぎ、増加幅は減少しています。昨年度の同時期と比べると本校に関しては、求人数は若干減少しているものの、相変わらず企業の採用意欲は高く、定員を充足できなかった企業で2次募集が始まっています。今年度も県外の大手企業でも応募者が集まらず、2次募集を行っています。
- 県内においても、地元企業からの本校生徒への熱烈なラブコールも多いですが、生徒数も限られており、なかなか期待に応えられないのが現状です。
(裏面に北羽新報社の記事を掲載しています)

2 3年生進路希望状況(10月20日現在)

		学年全体		1組	2組	3組	4組	5組	6組
		在籍数		建設	生物・生活	機械	生物・生活	電気	生物・生活
大学	国公立管外	進学 49	0	0	0	0	0	0	0
	私立		20	6	2	4	0	7	1
短大	国公立管外		6	2	0	1	0	3	0
	私立		3	1	1	1	0	0	0
専門学校			20	2	5	0	4	3	6
県内		就職 80	44	2	8	7	15	4	8
県外			29	5	3	9	2	8	2
公務員			7	2	2	2	0	0	1
進学		割合	38.0%	55.0%	38.1%	25.0%	19.0%	52.0%	38.9%
就職			62.0%	45.0%	67.6%	75.0%	81.0%	48.0%	61.1%

※管外とは秋田職業短期大学校等の文部科学省管轄外の公立学校

(1) 就職について

- ・業種は製造業、建設業(含電気工事)、運輸業、農業、サービス業、小売業、福祉等、多岐にわたっています。
- ・県内希望者が56.3%、県外希望者が43.7%となっており(含公務員)、さらに工業系学科の県内希望者が35.9%、県外希望者が64.1%、農業系学科の県内希望者が75.6%、県外希望者が24.4%となっています。工業科において、過去2年に比べ県外希望者が大幅に増えています。

(2) 進学について

- ・総合型選抜はすでに始まっていますが、本校生徒の主な受験方法である推薦試験が本格化してきます。可否についてもほとんどの場合、年内に発表されます。
- ・4年制大学への進学希望者のうち6割が運動部関係です。

高校就活

求人数増え337人に

8月末「売り手市場」続く

ハローワーク能代は、来春卒業予定の高校生の8月末時点の求人数は337人で前月比10人増、前年同期比21人減になったと発表した。県内就職希望者に対する求人倍率は3・59倍で前月比0・11増、前年同期比0・72増減。新型コロナウイルス禍後を見据えて採

用を増やす企業も少なくなく、高校生優位の「売り手市場」となっている。

ハローワーク能代による高卒求人申込書の受け付けは6月1日に開始。企業による採用試験は9月16日に解禁された。

8月末時点の高校生の求人受理状況は、102事業所から337人の求人があった。前月より5事業所、10人それぞれ増え、前年同期より20事業所、21人それぞれ減った。

業種別は▽建設業107人(前年同期比4人増)▽

製造業88人(同8人増)▽医療・福祉41人(同16人減)▽運輸・郵便業30人(同3人減)▽卸売・小売業27人(同7人減)▽サービス業18人(同10人減)――など。

能代管内の3高校と能代支援学校高等部の卒業予定者のうち、民間企業への就職希望者は119人で前年同期比17人減。県内希望は94人で11人増、県外希望は25人で28人減。

ハローワーク能代の担当者らは「サービス業や医療・福祉関係はコロナの影響で求人が減っているが、コロナ収束を見据えて作業を再開したい企業が増えており、高校生の求人倍率も高い状態となっている」と話している。